

雨天時対応マニュアル

2024年8月6日

・前日に雨予報であった場合、両校で話し合い、インドアコートを確認する。予備日（予定していた対戦日程の二日後までを予備日とする）を過ぎる場合に雨予報である時は必ずインドアコートを確認し、試合を行える状態にすること。また、自校の都合で相手校に強要はしないこと。

・予備日を過ぎる場合にインドアコートを確認できない時は、学連に連絡すること。

・以下対応手順となる。

① 試合会場地点の雨雲レーダーを確認し、両校話し合い、何時間待機をするかを定める。オムニコートで試合ができる可能性がある場合は、最低でも2時間は待機すること。

② コート選択権所有校のコートレフェリーが関東学生テニス連盟(03-5577-4940)に連絡。学連のコートレフェリーが派遣されていない場合は、両校の代表者が連絡すること。

※1・2 部校の連絡は当日派遣された学連のコートレフェリーが行います。

③ コート選択権所有校のコートレフェリーは途中経過をメールフォームにて報告。メールフォームには、試合会場、試合状況、待機時間、再開予定時刻などを記入すること。

④ 再開する、中止する、会場移動、どの場合でも学連に報告。

⑤ 再開をしても試合が終わらなかった、中止にした場合、原則として翌日朝9時より試合を再開する。翌日の天気予報などから、翌日朝9時より試合を開始できないことが明確な場合はこの限りではない。（一部校の場合は10時試合開始とする）プラクティスの有無は両校で話し合って決めること。試合前アップは5分間とする。

⑥ 会場移動をする場合は、両校の合意のもとで、できるだけ近くのインドアコートを探す。インドアコートの使用料は両校で折半すること。

⑦ インドアコートが見つからない場合は、両校の合意のもとで、予備日の範囲内で延期する。

⑧ 延期した試合は、原則として次の予備日に行う。予備日がない場合は、両校の都合を考慮して、学連に相談する。

⑨ 延期した試合は、前日までに終了した試合の結果をそのまま引き継ぐ。途中経過の試合は、中断した時点から再開する。

⑩ 延期した試合の会場や時間は、両校で話し合って決める。学連に報告すること。

1 部校リーグレフェリー 梶川 将吾

2~7 部校リーグレフェリー 志賀 夏緒